

## 民生文教委員会

### ●平成30年度一般会計補正予算（第2号）～債務負担行為補正～

**Q** 指定管理委託において、笠原老人福祉センター、笠原児童館、白雲荘の枠組みを分けた理由は。

**A** これまで社会福祉協議会が受託者となり施設管理を行っていたが、白雲荘は、施設の老朽化に伴う機能移転についてシニアクラブ袋井市の検討委員会と協議する中で、施設の継続、使用を強く望む意向を受け、シニアクラブ袋井市自身が指定管理者として自立した施設運営を行うこととなった。

笠原老人福祉センターと笠原児童館は、同和対策事業の一環で施設整備を行った成り立ちがあり、引き続き社会福祉協議会にお願いしていく。

### ●袋井市手話言語条例の制定について

**Q** 市民等の役割に、市民とろう者を分け、ろう者に別の役割を定めた理由は。

**A** この条例の制定には、平成28年度から市の身体障害者福祉会の聴覚障害部を中心とした条例検討委員会と協議を重ねてきた。その中で、ろう者の皆さんから、手話に対しては一般の人より知識があり、手話の実践者としての役割を明確にし、手話の普及に積極的な役割を果たしたいという強い思いを伺い、規定した。



議場での手話同時通訳

## 総務委員会

### ●平成29年度一般会計歳入歳出決算認定～企画費～

**Q** 自転車通行空間整備事業について、袋井駅近辺のモデル路線での事業の検証をされたということだが、どのような課題が浮かび上がって、どのように整理されたのか。また、整理された事項について、自転車を活かしたまちづくりにどのように活かしていくのか。

**A** 警察、県土木事務所、国土交通省浜松河川事務所と協議の上で整備を進め、この地域に合った試みを模索したが、整備後の評価としては、矢羽根（やばね）について、マークの大きさや形状、蛍光ラインの塗装など、改良した方がいいという意見も多く寄せられたが、地域住民からは、継続して整備を実施してほしいという意見をいただいた。



通行帯を走る自動車

### ●平成30年度一般会計補正予算（第2号）～防災費～

**Q** 家庭内家具等転倒防止推進事業で、今年100世帯分を追加することだが、当初、何件くらいを想定し、現在の実施率がどの程度進んでおり、次年度以降、どのような計画で事業を進めていくのか。

**A** 本年度の予算では、60世帯を見込んでいたが、100世帯追加して、計160世帯を予定している。来年度以降も家庭内の家具等転倒防止について、引き続き推進していきたい。